



町章	所在地	〒969-6592 河沼郡会津坂下町字市中三番甲3662番地	区分	人口	うち15歳未満人口	うち65歳以上高齢者人口	世帯数	うち高齢者単身世帯数	面積
	所在地	河沼郡会津坂下町字市中三番甲3662番地	H 17 年調	18,274人	2,672人	5,165人	5,385世帯	439世帯	91.59km ²
	所在地標高	海拔 177.00m	H 22 年調	17,360人	2,342人	5,126人	5,371世帯	500世帯	人口密度
	T E L	0242-84-1503 F A X 0242-83-1361	H 27 年調	16,303人	1,944人	5,210人	5,391世帯	570世帯	155人/km ²
	U R L	https://www.town.aizubange.fukushima.jp/	R 2 年調	15,068人	1,611人	5,522人	5,306世帯	660世帯	

キャッチフレーズ やっぱり“ばんげ”がいい！
～住み続けたい、やりたい事があふれるまち～

町花	菊	PRキャラクター	
町木	桜	バンビイ	
町鳥	うぐいす		

区分	氏名(ふりがな)	任期満了日	報酬(月額)	有権者数	男	女	計
町長(2期)	ふるかわしやうへい 古川 庄平	令和11年6月15日	796.0千円	R 8 . 3 . 1	5,851人	6,208人	12,059人

副町長	いたばしまさよし 板橋 正良	令和11年8月31日	640.0千円
議長	あかぎだいち 赤城 大地	令和10年3月31日	398.0千円
副議長	やまぐちつた 山 口 享	令和10年3月31日	289.0千円

総合計画等の策定状況			
名称	第六代会津坂下町振興計画		
策定年月日	令和元年11月5日	計画期間	令和2年度から令和11年度まで

町の概要			
(自然条件)			
本町は、会津盆地の西部に位置し、東部を阿賀川、西部を只見川が流れ、東に広がる平野部は標高170m前後の豊かな農地で、西部は標高300～400mの山が連なる。気候は、夏は盆地特有の高温多湿、冬は積雪1mほどで季節感豊かな町である。			

(産業・経済)			
基幹産業である農業は、恵まれた気候風土に培われ、米を中心に野菜・果樹の生産が盛んである。商業面では、国道49号沿線に大型店の進出が目立ち、工業面では、坂本工業団地をはじめ多くの企業が立地し、地元雇用の場の拡大が図られている。			

(観光・文化)			
史跡「亀ヶ森・鎮守森古墳」をはじめとする、多くの古墳や、古来より仏教文化が栄えたことから、神社・寺院が点在している。また、堀部安兵衛の両親の墓、中野竹子の墓、春日八郎おもいで館、各種の温泉施設がある。			

(伝統行事・伝統芸能)			
約400年の伝統をもつ「坂下初市奇祭大俵引き」(1月14日)、会津の三大田植えのひとつとして早乙女踊りが奉納される「御田植祭」(7月7日)、諏訪神社の例大祭として提灯行列、仮装山車コンクールが行われる「秋まつり」(9月第3土曜日・日曜日)がある。また、8月第1日曜日には、町の青年団体が中心となって「夏まつり」を開催している。			

(特産品)			
醸造文化が栄える当町には、酒と味噌それぞれ3つの醸造元があり、その他にも馬肉(桜)の刺身、そば、むきくるみ、身不知柿などが有名である。野菜では、会津伝統野菜である“立川ごんぼ”があり、地域おこしに利活用されている。			

R 8 年度重点事業			
(震災以外)	交流人口対策事業	3百万円	
〃	〇関係人口対策事業	1 〃	
〃	〇定住人口対策事業	34 〃	
〃	〇結婚支援事業	7 〃	
〃	〇介護・生活支援の担い手育成事業	1 〃	
〃	〇農業の担い手育成・確保事業	5 〃	
〃	〇中小企業・小規模事業者支援事業	5 〃	
〃	〇祭り・イベント運営事業	36 〃	
〃	〇若者による地域づくり活動推進事業	1 〃	
〃	〇公共交通維持対策事業	95 〃	
〃	〇DX推進事業	10 〃	

主な地域開発区域指定状況			
辺地	過疎	準過疎	山村豪雪
特豪	農産	特農	原発

一部事務組合等への加入状況			
会津若松地方広域市町村圏整備組合			

職員数	一般行政職員 120人 教育職員 15人	技能労務職員 0人 その他 38人	条约定数
	R 8 合計	企業職員、税務職員、福祉職員、看護・保健職員等のほか、1年を超えて勤務する定数外職員を含む。	212人
	R 4	R 5	R 6
	職員総数	167人	169人

財政(普通会計)										
(1) 決算 (千円)										
区分	歳入	歳出	形式収支	実質収支	実質単年度収支	積立金現在高	うち財政調整基金	地方債現在高	翌年度以降債務負担行為残高	
R 4 決算	9,046,269	8,540,795	505,474	464,534	299,584	1,900,419	745,611	6,771,525	371,864	
R 5 決算	9,283,880	8,833,181	450,699	426,466	121,602	2,316,784	880,799	5,944,689	253,959	
R 6 決算	9,860,119	9,287,602	572,517	556,808	316,274	2,418,564	878,399	5,163,204	234,228	

(2) 指標 () は類似団体 (千円・%)										
区分	標準財政規模	財政力指数	経常収支比率	健全化判断比率				資金不足比率		
				実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	比率	備考(事業名等)	
R 4 決算	(6,110,902) 5,158,589	(0.49) 0.37	(87.0) 85.1	-	-	(8.1) 10.3	36.6			
R 5 決算	(6,161,725) 5,224,849	(0.48) 0.37	(88.0) 83.9	-	-	(8.0) 9.8	24.5			
R 6 決算	(6,271,007) 5,260,011	(0.49) 0.38	(88.7) 87.6	-	-	(8.0) 9.0	12.2			

(3) 主な歳入 () は構成比 (千円・%)										
区分	地方税	地方交付税	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	計			
R 4 決算	(18.3) 1,659,234	(35.6) 3,224,455	(11.9) 1,080,461	(7.8) 708,911	(2.1) 194,100	(24.1) 2,179,108	(100.0) 9,046,269			
R 5 決算	(18.6) 1,727,875	(35.3) 3,274,569	(10.7) 996,050	(7.8) 726,614	(3.1) 285,359	(24.5) 2,273,413	(100.0) 9,283,880			
R 6 決算	(16.8) 1,657,300	(34.8) 3,435,850	(9.0) 885,215	(7.0) 692,995	(3.9) 389,193	(28.4) 2,799,566	(100.0) 9,860,119			

(4) 主な歳出 () は構成比 (千円・%)										
区分	人件費	物件費	補助費等	扶助費	公債費	普通建設事業費	その他	計		
R 4 決算	(17.2) 1,469,741	(13.4) 1,145,041	(16.0) 1,367,194	(9.0) 764,647	(14.5) 1,241,883	(8.4) 717,689	(21.5) 1,834,600	(100.0) 8,540,795		
R 5 決算	(17.5) 1,544,220	(13.1) 1,157,802	(16.1) 1,421,018	(8.4) 742,404	(12.9) 1,136,833	(10.4) 916,292	(21.7) 1,914,612	(100.0) 8,833,181		
R 6 決算	(17.9) 1,663,899	(12.9) 1,194,402	(18.4) 1,712,320	(7.4) 688,505	(12.8) 1,191,193	(10.3) 958,080	(20.2) 1,879,203	(100.0) 9,287,602		

(5) 税の徴収率 (国民健康保険税除く) (%)											
R 6 決算	現年課税分	滞納繰越分	計	現年課税分のうち		R 5 決算	現年課税分	滞納繰越分	計	現年課税分のうち	
	99.2	14.1	97.3	市(町村)民税	固定資産税		99.3	99.0	99.4	99.1	

公共施設整備状況										
道路延長	都市公園面積	公営住宅等	幼稚園	認定こども園	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	短大・大学	
352,615m	256,793㎡	402戸	2園	－園	2校	1校	－校	1校	－校	
老人ホーム	公民館	集会施設	診療所	病院	道路改良率	道路舗装率	永久橋比率	上水道普及率	下水道普及率	
－所	7館	582㎡	15所	159床	55.8%	75.8%	96.7%	94.9%	48.7%	

公営企業(R 6 決算)	() は法適用企業にあっては経常損益、法非適用企業は実質収支(千円)	主な郷土出身者
(法適用) 農集排(▲2,179)	(法非適用)	斎藤 清(版画家)、春日 八郎(歌手)、小林 五浪(日本画家)、高橋 藤園(書道家)、猪俣 公章(作曲家)、大堀 勉(医師)

今後の主要課題		主な立地企業
(震災以外) 〇坂下東第一土地区画整理事業 〇役場新庁舎建設事業 〇公共交通維持対策事業 〇DX推進事業	(特色ある施策) 〇「人の駅・川の駅・道の駅」活用事業 〇地域づくり推進事業 〇若者による地域づくり推進事業	会津プレス工業(株)、アルトン工業(株)、坂下電子光学(株)、マタイ東北(株)福島工場、八州ゴム工業(株)、(株)ヤマト光学、(株)彌満和製作所会津工場、(株)太郎庵、会津中央乳業(株)、(株)北越マテリアル、牛川電子(株)、サトー工業(株)、小島工業(株)、(株)安秀会津、(有)広瀬精密
	(姉妹都市) 埼玉県北本市	